

伊勢原地区子連

片町	25
板戸一	11
板戸第三	7
伊勢原上	12
田中	25
千津北	8

こんにちは 子ども会です！

市子連に所属し活動している
子ども会をご紹介します
市子連に所属してなくても
地域で活動している
子ども会があります

成瀬地区子連

下糟屋	130
粟窪	38
東富岡	23
前高森	289
あかね台	89
東高森団地	17
小金塚	161
アイリスの丘	23

石田地区子連

石田南	34
石田東	15

高部屋地区子連

洗水馬場	26
原	5
台久保	10
×引	15
新菊	20
日向の里	17

大田地区子連

つきみ野	30
東沼目	40
下谷	47
新屋	17
下小稲葉	10
西沼目	36

緑台地区子連

高森台	96
北高森	27

大山地区子連

大山	18
上子易	10
下子易	8

単位子ども会登録

市子連に登録している子ども会です	
八幡台二区	39

※数字は令和3年6月1日現在、市子連に登録している未就学児・小学生・中学生の合計数です。

ごあいさつ

子ども会は、遊びやふれあいを通して社会の一員として必要な知識・技能・態度を学ぶことで、心身の成長発達を促進する場であり、学校や家庭での生活と並ぶ重要な体験活動ができる場です。子ども会活動は多種多様です。地域の自然、歴史、文化にふれながら異年齢の仲間集団の中で楽しさや喜びを分かち合うと同時に、地域の方々との交流をすることでさらに、子どもたちには豊かな社会性が育まれることでしょ。

子ども会活動が活発になると、子どもも大人も地域でつながる輪となり、「地域で次代を担う子どもを支える」社会が広がっていきます。子ども会は今後も、楽しみながら子どもたちが生きる知恵や力を学んでいき、地域や社会を支える人に成長する場として、活動していきます。市子連役員一同



ホームページはこちら↑

活動前にいっしょに見直そう！ KYT(危険・予知・トレーニング)

子ども会では安全に活動するためにKYTトレーニングを推奨しています。どんな事がケガや事故に繋がるのかを一緒に考えることで、楽しく学ぶことができます。KYTシートはホームページにも掲載しています。楽しく活用してください。



↑KYTはこちら↑

【編集後記】困っていること、悩んでいること、こんなこと考えた等、いろいろな意見をお寄せください。ホームページも活用してください。メッセージを出し合い一緒に考えていきましょう。青少年課のメールアドレス seisyounen@isehara-city.jp メールアドレスはこちら
子ども会への入会希望・ご質問・お問い合わせは、各単位子ども会・地区子ども会または、青少年課までお問い合わせください。伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市子ども部青少年課 伊勢原市役所5階5番窓口 TEL: 0463-94-4647



令和3年度 子ども会 いせはら



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

- こ えの大きさに注意しよう
- ろ んぐよいしょと〜活動時間は短めに
- な るべく両手を広げてキョリをとろう
- に っこいえがおでアイコンタクト
- ま すくでふせごうせき・クシャミ
- け んおん&体調チェック
- る んるんうたってきっちい手洗い
- な かまを守るのは一人一人の心がけ

折り鶴にこめられた平和への祈り



市子連では年間を通して折り鶴を募集しています。寄せられた折り鶴は千羽鶴にして、広島市「原爆の子の像」へ奉納しています。今年度も寄せられた折り鶴を、広島へ送ることができました。

折り鶴づくりは世界平和や子どもたちの健やかな成長、地域の安全等の願いを込める他に「伊勢原市内の子ども会をつなげていこう」という目的があります。気軽に取り組みる活動としてぜひご協力ください。

折り鶴の受け入れ窓口は市役所5階青少年課です。みなさんも想いを込めた折り鶴を私たちと一緒に届けませんか。



広島市から折り鶴のお礼の手紙と写真を頂きました

心と心をつなげていこう！

ここ数年、新型コロナウイルスによる感染防止のため、人と人の距離を置くことが推奨され定着しつつあります。自分のため・家族のため・友だちのため・・・大切な人のために、小さな子どもからお年寄りまで、ひとりひとりが周りに迷惑をかけないように何かを我慢して過ごしています。おみこし・夏祭り・クリスマス会等、毎年楽しみにしていた行事を行うことが難しく、地域の方と触れ合う機会もなくなっていきます。私たち子ども会にとって「何ができるんだろう」「何もできないのなら辞めてしまおう」と後ろ向きな考えは大きくなり、かつてないほどの逆風が吹いています。そんな今だからこそ、できることを「いっしょにやろうよ！」と声をかけ合いませんか？市子連では子どもたちのために「できることがあるよ」「これなら手伝うよ」と声をかけていただける方を大募集しています。人と人の距離は取るけれど、一緒に笑いながら・楽しく過ごしながら、心と心をつないでいきたい。ぜひ私たちに協力してください。

連絡先：伊勢原市子ども会育成会連絡協議会事務局 伊勢原市子ども部青少年課
0463-94-4647

令和3年度 春の広報紙

発行：伊勢原市子ども会育成会連絡協議会（市子連）

【マイフォーム募集】で送っていただいた
折り紙の写真です。 かずきさん♪ありがとう



4つの【つながり】をご紹介します

★ 継続することが難しい今だから
★ これからの「子ども会」を考える
★ 参考になれればと思います
★ 「こんな取り組みがあるよ」
★ 「こうしたらどうかな」など
★ たくさんのご意見をお待ち
★ しています
★ 一緒に考えていきましょう



©伊勢原市

石田地区

OB・OGの つながり

石田地区子連（石子連）は、子ども会役員OB・OG有志4名が【子どもたちのために・できる範囲で・できる人が・できることを・無理はしないで・持ちつもたれつ】をモットーに活動しています。

地区に複数の単位子ども会があった頃は主催イベントを年に2回開催していましたが、2つとなった現在は『愛甲石田駅南口ロータリー祭り』に単位子ども会所属の高学年生とゲームコーナーを出店し、地域の方々子どもたちとのつながりを深める役割をしています。その他子ども会から要請があった時可能な範囲でお手伝いをしたり、成瀬地区子連役員の方々と公民館まつりに参加しています。年間の流れを理解しているため活動がスムーズで大きな負担を感じることなく、小学生や地域の方との交流を楽しんでいます。子どもたちの顔が分かりにくいとも感じます。

少子化に加え役員選出という課題は毎年重くなっています。役員を引き受けることは家族の理解や協力も必要です。今後の子ども会運営を考えたとき、少しでも負担軽減になるのであれば、経験値のある子ども会役員OB・OGが「役員継続は難しいけれど支援協力はできるよ」「今年は難しいけれど来年はできるよ」「やりますよ♪」と気軽に引き受けてくれる環境ができればいいと思います。石田地区子連役員



【愛甲石田駅南口ロータリー祭り】



【クリスマス会】

石田南・石田東子ども会は合同で活動し、外部団体にも依頼しながら年間運営をしています。

クリスマス会では開催時間内の好きな時間に訪れた子どもたちが、コロナ禍でも工夫を凝らした3つのゲームコーナーを楽しんでいました。また高学年児童が積極的に店員さんの仕事に取り組む姿を見て、改めて早く全員で楽しめる子ども会に戻ってくるといいなと実感しました。

石田南・東

子ども会 どうしの つながり

©伊勢原市



大山地区

お父さんの つながり



【大山小学校 セツカざり】

大山地区子ども会ではお父さんが役員として、主体的に運営しています。任期は3年で毎年1人が2人ずつ交代して引き継ぎ、お母さん方も協力しています。大山公民館で毎月の防犯パトロールや打ち合わせをしながら、親睦を深めています。

当初はみんなで参加し、企画の楽しみも含めて受け継いできましたが、もの作りや表現の企画を行う中で徐々にお父さんが主体となってきました。子ども会を通じてお父さん同士の親睦を深める機会にもなっています。

大山小学校は他の小学校と比べて子どもの人数が少ないからこそ、PTA活動や地域イベントへの参加意識も高くなり、自然とみんなで子どもたちを支えようと、現在のかたちとなったように思います。

最後に大山地区子ども会の取組については、地域の皆様や大山小学校の先生方にご理解ご協力をいただき、風通しの良い関係が築けていることがスムーズな運営にも繋がっていると改めて感謝いたします。

どこの地区も子ども会の存続が厳しい状況ではありますが、少しでも大山地区子ども会の取組が参考にできれば幸いです。大山地区子連役員



【大山小学校体育館でクリスマス会】

大田地区下小稲葉子ども会では、2015年から地域の方にお声がけいただき、さつま芋・ジャガイモや里芋掘りを楽しんでいます。子ども会の総会には農業指導員としてご参加いただいています。

子どもたちと役員は、畑の草刈りや種イモの芽が出ている場所を残して縦に切ったり、黒マルチに穴をあけたりしています。作業中ジムグリと言う蛇を捕まえたり、とてもにぎやかです。耕作や草刈りは地域の方がやってくれていることが殆どで、畑仕事に慣れていない役員ばかりの私たちはとても感謝しています。

コロナ以前は、採れたお芋を皆で試食し「美味しい!」と、満面の笑みでとても喜んでいました。そして子どもたちからは感謝の気持ちとして、メッセージを添えたアルバムをプレゼントしています。

お芋掘りを通じて子どもたちも役員もとても貴重な経験と楽しい時間をいただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。農業指導員としてご協力いただいている地域の方からは、子どもたちが継続したいと思うのであれば、協力するよとお話いただきました。これからも楽しい子ども会の活動として、続けていければ良いと思います。

下小稲葉子ども会会長



【下小稲葉子ども会のお芋掘り。地域の方に教えていただきながら楽しく学んでいます】

下小稲葉 子ども会

地域の つながり

